

見学者・入園希望者からのQ&A

大池けいあい保育園

Q1：保育園のおやつは手作りなのですか？

A 給食・おやつ・延長保育のおやつ・延長保育の夕食等、行事等での影響がない限り極力、手作りの食事・おやつを提供していきたいと考えています。

Q2：子どもの食べ物の「好き・嫌い」には、どのように対応されますか？

A 高齢者への食事サービスと同じように、保育園でもお子様本人との信頼関係を重視し、強要はいたしません。嫌いなものは、まずは「外してあげる」ように対応し、本人の身体と食の成長をみながら、「一口食べてみない？」と誘っていきたいと思います。

一口でも食べようと思うようになるのに、1週間なのか1か月なのか、3カ月なのか…「信じて待つ力」が保育士に試されます。

当然「ねがい」としては、6歳になる時には「出されたものは全て、時間内においしく楽しく食べてしまえる」子どもに育てていきます。食べる力=生きる力が育ってくれます。

Q3：アレルギー食への対応は、どのように考えてありますか？

A 栄養士も勤務します。医師の診断に従って、出来る限りの代替食（除去食）を用意させていただき、本人が引け目を感じないように出来るだけ配慮してあげたいと思っています。

Q4 玄米は幼児にも大丈夫なのですか？ 農薬は大丈夫ですか？

A 1年目なので、全員一斉に毎日…とは思っていません。

年齢、そしゃく力、日ごろの食事状態を把握しながら、徐々に進めています。そのために、調理場には7升炊きの圧力釜と別に、3升炊きのガス炊飯器を準備しています。

・玄米なので、確かに農薬も気になるところです。そこで、久留米から無農薬米を購入しています。黒米・赤米も一緒に仕入れています。

Q5 送迎用駐車場はあるのですか？

保育園から100mほど離れたところに駐車場があります。職員を含めて25台駐車可能。保育園の前にも駐車スペースがありますが、通常は0歳児の保護者と妊婦さん等優先。見学のお客様は、保育園の前に駐車してください。

Q6 延長保育時間の料金は？

A	・標準時間保育の場合	単発：30分単位 300円
	18時～19時（軽食付き）	月額4,000円
	18時～20時（夕食付き）	月額7,000円
	・保育短時間の場合	単発のみ 30分単位 300円

Q7：「布おむつをすすめる」とのことですが、持ち帰りはあるのですか？

- A 布おむつは「レンタル」です。おむつは、業者が回収して洗濯しています。専門業者が回収・洗浄・殺菌・消毒・高熱乾燥～搬送してくれます。病院・老人ホーム等にも納入している50年以上実績のある会社です。保育園に登園したら布おむつに交換。帰りはご自宅用に替えて帰ります。レンタル月額は年齢、頻度により異なりますが、参考として
0歳：約5,000円 1歳：約4,000円 2歳：約3,000円
・おむつカバーは個人で用意していただき、持ち帰りをお願いしています。

Q8 お薬を飲ませたり塗り薬の塗布などを対応していただけるのですか？

- A 基本的にお薬は、医師から保護者へ処方され、保護者の責任で与薬されるものです。保護者以外の保育士等が与薬することはできません。一日3回と処方されたお薬は、「朝、帰宅後、寝る前」に与薬していいか医師に相談していただくようお願いすると思います。塗り薬も同様です。また、医師の処方以外の市販のお薬は、一切受け付けられません。緊急・特別なお薬が処方された場合は、医師からの文書を確認させていただいたうえで対応させていただきます。なお、アレルギー等の確認・対応は、定期的に面談しながら丁寧にすすめていただきたいと思います。職員も保護者の皆様とともに、勉強させていただきたいと思います。

Q9：運動面で「子どもに筋力がつくと良くない」と聞きましたが、お考えは？

- A 基本的に小さい頃に筋肉がつくと、骨を引っ張って身体の成長を妨げやすくなります。保育園では、筋力をつけるためではなく、身体を正しく支えるための強さとしなやかさを育てたいと思っています。ハイハイ、高バイ、両生類のハイハイなどで体幹を育てたいと思っていますが、体操の選手を育てようとしていません。トレーニング的なことと言うなら、幼児期に必要なことは筋力トレーニングではなく、筋肉や体を柔らかく保つ柔軟トレーニング（ストレッチ）を大事にしていきます。

Q10 保育内容について

「知的教育は行わない」とのことですが、設定保育などは無いのですか？

- A：文字書きや計算、フラッシュカード、体育教室、合奏などはありませんが、絵本の世界が広がって「ごっこ遊び」や「表現遊び」、制作活動に広がったり…子どもたちの心の中から発想としてあふれてきたものを、遊びとして形にしていくことはたくさんあると思います。それが、単なる遊びとして展開するのか、「設定保育」と捉えられるかは大人の都合だと思います。子どもたちが夢中にワクワクしながら遊べる毎日を提供したいです。

Q11 遊びの体験学習重視とは、どのようなことですか？

A 子どもの遊びには段階があります。

0歳時期に、口、唇で、手足やいろいろなものをなめて遊ぶ時期から、水でのべちゃべちゃ遊び、泥などでのヌルヌル遊び、砂などでの形遊び、そして、ままごとなどのごっこ遊び、見立て遊びへと発達します。

そのために、順序として乳幼児への原体験～本物に触れる体験を保障したいと考えています。年齢に応じて、安心して身体を存分に使って遊びますし、水・どろ・砂の後は、紙、道具を使って製作したり、アクティブラーニングにつないでいきます。

Q12 アクティブラーニングってどんな教育ですか？

A 私たちが保育園でやっていきたいことは、子どもの声に耳を傾けて、なぜだろう？ どうして？ やってみたい！ 面白そう！という発信を形にしていきたいと考えています。一例ですが

運動会では、競技の種目、順番、並び方、チーム編成等を子どもたちと相談しながら決めていきたいと思っています。

発表会では演目、演出、キャスティング、結末のつくり方。

遠足の場所、持っていくもの、活動内容、役割分担など

出来る限り、子どもたち主体に話し合っ決めて、責任を持たせていきたいと思っています。大人の世界では、「自治活動」と言いますが、教育活動です。

Q13 文字指導などが無くても、小学校の学習に追いついていけますか？

A 保護者には、一番気になるころだと思えます。4年生（10歳）で結果が見えます。

1年生になった子ども達の気持ちが2通りに分かれるのをみてきました。

①宿題をワクワクしながらやる子：ひらがなの宿題に興味を持って取り組む子。

やった！1年生！お勉強が出来る！という気持ち！

②宿題をバカにしている子：「今ごろ”ひらがな”だって!? 知ってるし!!」と、小学校での授業に興味をもって取り組めない結果、だんだんわからなくなってきて、得意教科と苦手教科が顕著になってくるという現実がありました。「自分は出来る！」と思っていた子が、学校が面白くなくなっていき第一歩を目の当たりにしてきました。

*集中して夢中になって遊べる子 = 学び始めたら吸収力がすごいです。

*身体が育っている子は、集中力が続きます。クネクネ・ダラダラしない。

*6歳児は30分の素話「読み聞かせ」が聞けるように育てたいです。

頭の中でストーリーに沿った映像が見えるようになると、お話好きになるし、本・教科書をちゃんと読むようになります。

*しっかり遊んで、仲間と切磋琢磨してきた子は、よく質問します。

「なぜ？」「どうして」「〇〇じゃないの？」と問う。

わからないことに自信をもって「わからない!」「もう一度教えて!」と言えます!

学校生活は、社会生活準備のほんの一部。人として大事なことは、つまずいたりダメかもと行き詰った時に、逃げないで頑張り続けることや、誰かに助けを求めて乗り切る渡世術ではないかと思えます。仲間や夫婦で協力し合い、折り合いをつけたり、説得し、我慢し、妥協し良好な関係を上手に保ち続ける距離感と状況判断力かと思えます。子どもたちは、毎日毎日、けんかし、妥協し、我慢し、話し合い、折り合いをつけながら強くなっています。